

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援・保育所等訪問支援スマイル今里店

公表日 2026年2月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	38%	62%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園側のニーズに応じて、教材を持参する・事業所へ来所してもらう等の選択肢は提示できています。</li> <li>・今後、園と相談しながら必要に応じて教材を準備して、訪問支援を行っていきます。</li> <li>・理学・作業・言語面で活用できる教材の準備は事業所内にあるが、具体的な教材・教具等への提案・導入まで落とし込めていません。</li> </ul>	・機能訓練士(理学療法士、作業療法士)が普段の療育で活用する教具教材はあるが、具体的な提案に至っていないケースが多いため、お子様の状況に応じて提案できるように準備・情報共有を行っていきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当を振り分けているため、業務負担が特定の職員に偏りにくい体制になっています。</li> <li>・訪問支援員を固定せず、専門職や保育士等が同席することで、多角的な視点でアセスメント・支援ができていますと考えます。</li> <li>・全体として、現在の運用は適切です。</li> </ul>	・常に職員の配置は見直ししながら、状況に応じて様々な職種を活かした職員の配置を検討していきます。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問前に、訪問支援員から訪問先の状況確認や今後の支援方針について相談できる環境が整っています。</li> <li>・振り返りでは事業所の特色を活かし、機能訓練士(専門職)の意見も取り入れられています。</li> <li>・単独訪問にせず複数職員で同行・意見交換を行い、支援の質を高めています。</li> <li>・内容は職員間で共有され、共通認識をもってその後の支援に反映できています。</li> <li>・朝礼・終礼で共有し、議事録に残すことで全職員に周知できる仕組みがあります。</li> </ul>	・PDCAサイクルは一定程度機能しておりますが、支援の質向上につなげるためには、より多くの職員が主体的に意見を出し合える環境づくりが重要であると考えられます。今後は、振り返りの場において意見交換の機会をさらに充実させ、継続的な業務改善につなげていきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問前や報告で保護者様の不安や心配、意向や要望などを直接聞き取る場を設けています。そのご意見や要望を職員間で情報共有して改善策を検討しています。</li> <li>・定期的なモニタリングでの聞き取りや評価表(アンケート)を配布・回収し、業務の改善・見直しにつなげています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様の意向を把握する際には、個々の意見を丁寧に分析し、具体的な業務改善に反映させています。</li> <li>・今後は、評価結果の振り返りをより体系的に行い、支援内容や運営面の見直しに活かしていきます。</li> </ul>
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問後すぐに他職員へ共有し、報告書を通して助言・意見を得られています。</li> <li>・終礼等の場で意見交換を行い、支援の質向上につなげています。</li> <li>・日頃からコミュニケーションを重視し、業務改善と働きやすい環境づくりに取り組んでいます。</li> </ul>	・職員の意見を共有する機会は確保しているもので、引き続き行っていきます。今後は、意見を具体的な改善策につなげ、その結果を職員間で共有することで、より働きやすい環境づくりを進めていきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	62%	38%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同グループの他店舗の職員に確認を依頼し、助言をもらう体制があります。</li> <li>・同グループ内で、店舗横断の意見交換・相互評価ができています。</li> <li>・外部評価(第三者評価)は現在実施していません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗間チェック体制は整っているが、外部視点の評価が未実施です。</li> <li>・年1回でも外部講師・関係機関による事例レビュー(匿名化)を導入し、改善計画に反映することを検討していきます。</li> </ul>
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他店舗の訪問に同行する機会があり、実践的に学べる体制があります。</li> <li>・外部研修への参加、外部講師を招いた研修(マナー研修、外部との関わり方)、新人研修などを実施し、継続的な質の向上に取り組んでいます。</li> </ul>	・研修機会は確保されておりますが、研修内容を実際の支援にどのように活かしていくかについて、より深く考えてまいります。研修後の振り返りや情報共有を行い、職員全体の支援スキル向上につなげていきます。
8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1回のモニタリングでスマイル独自のアセスメントシートを用い、保護者様に成長を確認してもらいながら、事業所での課題評価とあわせて客観的に分析し、個別支援計画を作成しています。</li> <li>・アセスメント時に、園の様子と事業所での様子を複数職員で共有し、同席して実施するなど、多角的な視点を確保できています。</li> </ul>	・アセスメントおよび支援計画の作成は適切に行われておりますが、評価の視点や記録内容について、より統一を図る余地があります。今後は、職員間での情報共有をさらに徹底し、多角的な視点をより一層支援計画に反映させていきます。	

9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有を徹底し、機能訓練士・児童指導員・保育士など多職種の見解を取り入れられています。</li> <li>・日々児童を見ている職員が中心となって状況を共有し、支援に反映できています。</li> <li>・事業所内の担当者会議で、原案を参考に課題を整理し、他職種の意見を踏まえて協議する場があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援方針については多職種で共有しておりますが、判断基準が個々の経験に依存しやすい場面も見受けられます。今後は、「何を優先するか」「誰がどのように支援するか」といった点について、話し合いの内容を記録として残し、共通理解をより確実なものにしていきたいです。</li> </ul>
10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問開始前に訪問先向けアセスメントを実施し、状況を整理した上で訪問支援を開始できています。</li> <li>・担任（園側）のアセスメントを通して意向を把握し、計画や支援内容に盛り込めています。</li> <li>・日常的な意見交換に加え、児童発達支援管理責任者が訪問して現状把握・意見交換を行い、訪問支援先（園長・担任など）の意見を直接聞く連携体制があります。</li> <li>・訪問時に訪問支援員が毎月の目標・課題を確認し、計画作成担当へ共有できています。</li> <li>・訪問支援時の情報共有や、園のアセスメント記載内容を支援に反映できています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先施設や担任等の意向を支援計画に反映しています。今後は情報共有のタイミングや内容をさらに整理し、より一層連携を深めていく必要があります。</li> </ul>
11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画作成担当から共有を受け、短期目標の理解・実行につながり、達成できるようになりました。</li> <li>・事業所内で計画書を厳重に管理しながらも閲覧する仕組みがあるため、常に計画書に基づく支援の運用につながっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画は職員間で共有されておりますが、支援内容の理解に差が生じないよう、定期的な確認や振り返りを行い、計画に沿った支援を徹底していきます。</li> </ul>
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社共通のアセスメントシートを活用し、フォーマルな聞き取りに加えて日々の訪問時の行動観察も踏まえて評価しています。</li> <li>・園での様子や家庭での様子を直接聞き取り、状況を確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種アセスメントを実施しておりますが、評価結果の整理や活用方法について、より統一した運用を検討する必要があります。今後は記録の活用を通じて支援の質向上につなげていきます。</li> </ul>
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援ガイドラインを踏まえ、児童に応じた直接支援・間接支援の中で必要な支援内容を検討できています。</li> <li>・児童の状況だけではなく、特性に合わせた実際に取り組める内容を具体的に記載した計画書作成に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容は記載されておりますが、目標の達成基準が分かりにくい場合があります。今後は「何が、どの程度できたら達成か」を明確にし、直接支援・間接支援の役割を整理していきます。</li> </ul>
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画作成担当から共有を受け、短期目標の理解・実行につながり、達成できるようになりました。</li> <li>・事業所内で計画書を厳重に管理しながらも閲覧する仕組みがあるため、常に計画書に基づく支援の運用につながっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づく支援は行われておりますが、状況の変化に応じた見直しの共有をより丁寧に行い、支援の一貫性を高めています。</li> </ul>
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問前日の終礼、または当日朝礼で、本人の課題・観察ポイント・担任への伝達内容を話し合い、訪問の質を担保しています。</li> <li>・計画的な打ち合わせ（事前ミーティング）の実施までではできていない時もあるが、事前の打ち合わせはなくても、チームで連携できるよう情報共有ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前ミーティングができない日もあり、口頭共有に偏ることで「見るポイント・伝える内容・役割分担」が統一されず、引継ぎや振り返りに残りにくい場合があるのが課題です。今後は終礼／朝礼で毎回「課題・観察ポイント・伝える内容・役割分担」を意識して確認し、要点を簡潔に残して共有することで、誰が担当でも同じ理解で訪問できるようにしていきます。</li> </ul>
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問後には、訪問や支援の中で気づいた点・気になった点を共有できています。</li> <li>・終礼で児童の様子との共有に加え、スマイルとしてできる支援（次の手立て）まで話し合っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りは実施しておりますが、気づきや改善点を次回支援へより確実に反映できるよう、記録方法や共有の仕方を工夫していきます。</li> </ul>
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前打ち合わせや初回訪問時に、園の方針・支援手法を直接聞き取り、訪問中の観察も含めて把握に努めています。</li> <li>・担任が児童に「どう育ってほしいか」という意向を把握できています。</li> <li>・基本的に園の意向を尊重しながら訪問支援を進めています。</li> <li>・訪問先の保育理念や支援方法を考慮したうえで支援を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援員を中心に状況把握に努めているが、今後は事業所間で訪問先の理念や支援手法の状況把握に力を入れていきます。</li> </ul>

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問時専用のメモを用い、細やかな記録を取れています。</li> <li>・毎回の訪問内容を整理して記録にまとめ、職員間で共有できています。</li> <li>・訪問後は個別支援計画に沿って、様子・共有事項・課題を整理して記録できています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録は適切に行われておりますが、支援の検証や改善により活用できるよう、記録内容の整理と振り返りの機会を充実させていきます。</li> </ul>
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング時期に合わせて日時調整を行い、関係者で話し合いができています。</li> <li>・保護者様・担任とコミュニケーションを取りながら計画の見直しを行えています。</li> <li>・定期的なモニタリングにより、本人の成長や課題の達成状況が確認できています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なモニタリングは実施しておりますが、見直し結果を支援計画へ反映する流れをより明確にし、継続的な支援改善につなげていきます。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議などには、児童発達支援管理責任者を中心に、状況に応じて担当職員も参加し、関係者と情報共有や支援方針の確認を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議への参加体制は整っておりますが、情報共有の内容を事業所内でさらに活用できるよう、共有方法の工夫をしていきます。</li> </ul>
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携を取り合う体制は整えています。しかし実際に稼働しているケースはまだ少ないのが現状です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携できる体制は整っているが、実際に動かし経験が少なく、必要な場面でスムーズに連携できる職員や進め方が限られやすいという状況です。なので、連携が必要になった時に迷わず動けるよう、連絡の流れ・共有する内容・役割分担を普段から整理し、事例共有や練習を通して対応できる職員を増やしていきます。</li> </ul>
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に向けて、本人・保護者様・就学先・他事業所と話し合い(ケース会議)を行い、必要な引き継ぎや情報共有を進められる体制は整えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ運用実績が少なく、就学対応を円滑に進められる職員に限られているのが課題です。今後は共有する内容や進め方を整理し、経験の共有・引き継ぎを進めることで、複数の職員が対応できる体制を広げていきます。</li> </ul>
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携している専門学校の先生や、他店舗の職員などから助言を受けています。</li> <li>・研修を受けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社全体で外部研修を実施しています。今後も質の向上のため専門家や専門機関等に助言を受ける機会を作っていきます。</li> </ul>
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所の子育て支援室との情報共有を必要に応じて行っています。</li> <li>・子育て会議等に参加したことがないが、機会があれば参加していきたいと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は利用されている児童の地域とのやりとりはしているが、地域活動への参加には至っていないのが現状です。状況を整え、必要に応じて参加や情報共有を進めていく必要があると考えます。</li> </ul>
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時など時間のある限り、色々な事を聞き課題について話しています。</li> <li>・送迎時やLINEで伝えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有は行っておりますが、内容の整理や記録を行い、より共通理解を深めていきます。</li> </ul>
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、子育てセミナーとして保護者様向けの勉強会やグループ相談の場を設け、研修機会の提供や学びの場作りを行っています。</li> <li>・他店舗と合同で子育てセミナーを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や支援の機会は確保されておりますが、今後はより多くの家庭が参加しやすいよう、内容や周知方法を工夫していこうと考えています。</li> </ul>
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に丁寧に行っています。</li> <li>・利用契約する際に資料を使用し説明を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明は行っておりますが、理解度の確認が十分でない場合があります。今後は確認を行い、必要に応じて書面で補足するなどの対応をしていきます。</li> </ul>
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始前に担当職員と児童発達支援管理責任者で訪問先施設に説明に伺っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明は実施しておりますが、内容が十分伝わっているかの確認を行い、理解を深める工夫をしていきます。</li> </ul>
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始前に、保護者様と面談を行いしっかり聞いています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意向確認は行われておりますが、今後はより丁寧な聞き取りを行い、支援内容への反映を強化していきます。</li> </ul>
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書を見せながら口頭で説明したり、控えを渡して確認してもらっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同意は得られておりますが、内容の理解をより確実にするため、確認作業を都度行いながら説明を行っていきます。</li> </ul>
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて個別相談の場を設け、個々の悩みや不安を聞き取り、助言を行っています。</li> <li>・子育てセミナーを実施したり、送迎時等で支援を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談対応は行っておりますが、記録や振り返りを通じて、より安定した支援につなげていきます。</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てセミナーや他店舗で行われるお祭りの参加を促し、交流できるように支援しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の機会は設けておりますが、今後はより参加しやすい内容や方法を検討していきます。</li> </ul>
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上司に引き継ぐ等して、迅速に対応できるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応体制は整っておりますが、対応内容の共有や振り返りを行い、再発防止につなげていきます。</li> </ul>

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	88%	12%	・保育所等訪問のみの配信はないが、会社全体のHPや事業所としての取り組みは定期的に情報発信をしています。 ・ブログをあげたり、日常の様子をできる範囲でLINEに送っています。	・保育所等訪問支援を通じて出た支援内容や実施報告をHPやSNSに掲載するなど、訪問支援を通じてお子様の成長につながったケースを発信することを検討します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・HPやSNS等の顔出し等、各家庭に確認してから行っています。	・鍵付き書庫で適切に管理しておりますが、引き続き職員への周知徹底と確認を行ってまいります。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・分かりやすい言葉で話すように心がけております。	・配慮は行っておりますが、個々の理解度に応じた伝え方をさらに工夫してまいります。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	88%	12%	・訪問時その場で支援の提案が難しい場合は、事業所で検討後、再度伝えていきます。 ・職員間で話し合い、適切な助言ができる体制を整え実施しています。	・訪問支援先からの相談については状況に応じて一度持ち帰り、職員間で共有しています。意見を出し合ってから、必要な助言や支援を行っております。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	・担任の先生と職員で話ができる時間を設けています。 ・訪問支援先も忙しい中で長い時間ではないが、その場で話し合っています。	・実施はしておりますが、時間確保が難しい場合もあるため、効率的な情報共有方法を検討していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	・送迎時に担当の職員が行くなどして共有しています。 ・実情に応じて口頭、文書を組み合わせ訪問の様子を伝えていきます。	・共有は行われておりますが、記録の整理や伝達方法を工夫し、より分かりやすい共有を目指していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・支援児童のことは話すが、その他の個人情報は厳重に取り扱っています。	・鍵付き書庫で適切に管理しておりますが、引き続き職員への周知徹底と確認を行ってまいります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	75%	25%	・訪問先施設との信頼関係の構築を第一に支援を実施しています。 ・お子様の相談内容に応じて、児童発達支援管理責任者、機能訓練士など助言を行っています。 ・専門的な助言を行えているか分からないが、情報は細かく共有しています。	・訪問先から問題の専門的解決を求められた場合は、機能訓練士や児童発達支援管理責任者と相談しながら、専門的な助言を行い、支援の質を高めよう努めてまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	12%	・各種マニュアルを策定して避難訓練の日を設けて実施しています。	・実施していても、訓練の“評価と改善”が弱いと形骸化しやすいことが課題と考えています。今後は、訓練後に振り返り（課題・改善）を記録し、次回訓練に反映してまいります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・研修を受けています。 ・年間計画に基づき、実施しています。	・現状の取り組みを維持し、今後も継続して実施してまいります。あわせて定期的に運用状況を点検し、必要に応じて微修正を行うようにします。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・その都度全体で共有し、対応の仕方も共有しています。	・今後も終礼の際にヒヤリハットの共有と再発防止策の検討を徹底し、同じことが起きないように対応を統一してまいります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・職員で研修を定期的に受けています。 ・日々の支援の振り返りを徹底し意識を高めています。	・定期的に研修機会を確保し、全職員が共通理解を深めることで、虐待防止に向けた適切な対応を徹底します。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・身体拘束の職員研修を行い、意識を高めています。 ・実際に必要な場合は、保護者様と身体拘束についての同意書(個別支援計画に記載)をかわし、組織的に決定して実施する体制が整っています。	・今後も事前の了承を得たうえで、やむを得ない場合の認識を職員と保護者様の共通認識のもと実施してまいります。